

平成30年度評価シート

1	施設の名称	那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園
2	指定管理者 名称	環境整備株式会社 代表取締役 竹島 秀幸
	住所	栃木県宇都宮市岩曾町1333
3	指定期間	平成30年4月1日～令和4年3月31日（5年間）
4	施設所管課	那須町教育委員会生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	<p>平成30年度のスイミングドーム利用者は、45,339人で前年度より1,554人増となった。利用者の内訳は、町内が24,704人(54.5%)、町外が20,635人(45.5%)であり町内利用者がやや多い状況である。集客の取り組みとして、夏休みイベント（例年事業）の開催や、エアロバイクを無料利用とした。また子どもから大人までを対象とした水泳教室や長期休業中を利用した短期子供水泳教室を引き続き実施し、認知度や利用者の拡大を図っている。しかしながら、3年前にオープンした西郷村営プールに一部の利用者が流れている。理由としては、6か月券及びシルバー料金が低く設定されていることが挙げられる。</p> <p>余笹川ふれあい公園について、那須九尾まつりは台風の影響で中止となったが、それ以外のグラウンドゴルフや地ビール祭りなど例年どおりのイベントが開催された。</p>
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	利用者アンケート・意見箱設置を通年で実施しており、改善要望等に対応可能な事項については、早急かつ適切に対応している。施設整備や利用関係の改善要望もあるため、町として改善すべきものは検討し、対応したい。なお、余笹川ふれあい公園利用について、土・日曜日は、誰もが自由に公園を利用できるように、団体で行うグラウンドゴルフ等の利用は行わないこととしている。また、従業員研修の強化や窓口・電話対応の向上を図り改善を行っている。
8	指定管理者の経理状況の評価	平成30年度の収支について、収入総額は76,489千円(内委託料48,600千円、売上金27,889千円)の前年比プラス6,762千円に対し、支出総額は75,141千円の前年比プラス424千円で、1,348千円の黒字となっている。主な要因としては、水泳教室参加者の増加及び指定管理者の全体的な経費削減によるものです。今後は、入場料収入や自主事業等による収入増への取り組みが必要である。
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	指定管理者更新の1年目となり過去5年間と同様に町と月次定例会を実施している。事業報告はもとより問題点や利用者からの要望・改善事項等について話し合いを行い、速やかに対処するよう努めている。施設管理面では、施設の老朽化に伴う修繕等を町との協定に基づき積極的に実施しているが、平成8年開設以来23年が経過し、年々修繕が増加しているため、大規模な改修を今後検討する必要がある。
10	評価ランク	: C
	A : 非常に良好な施設の運営状況であった	D : やや課題のある施設の運営状況であった
	B : 良好な施設の運営状況であった	E : 課題のある施設の運営状況であった
	C : 普通の施設の運営状況であった	

平成 30 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称 那須町立図書館
2	指定管理者 名称 株式会社図書館流通センター 代表取締役 石井 昭 住所 東京都文京区大塚三丁目1番1号
3	指定期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
4	施設所管課 那須町教育委員会 生涯学習課
5	履行状況(町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等) ・協定書、仕様書等にそって、業務は概ね予定どおり履行されている。
6	利用状況、運営状況 ・平成30年度の開館日数は306日(前年比±0)、入館者数は61,226人(前年比4,127人増)、貸出人数は16,944人(前年比31人減)であった。1日当たりの平均では、前年度に比べ、入館者数は13.5人増の200.1人、貸出人数は0.1人減の55.4人となった。入館者数増加の要因としては、昨年度は主に中学生の学習室等利用が多かったことが増加の主な一因となっている。 ・那須町子どもの読書活動推進計画に基づき、読み聞かせ入門講座、図書館スタッフ向けに読み聞かせ研修会を開催した。 ・新規事業として「絵本と自然を楽しむ会」「栃木弁で昔話を伝える会」を開催し、夏休み事業としては「読書感想文書き方の教室」を開催した。
7	町民(利用者)からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価 ・指定管理者が実施しているアンケート調査によると、図書館内の図書整理状況、予約サービス、スタッフの対応、館内の清潔さについて、昨年同様概ね満足されている状況である。 ・利用者からの要望の多くは、図書の充実が求められている。 ・利用者の多くは60歳以上の方が多くことから、昨年同様エレベーターや障害者用トイレの設置の要望が多く、今後検討する必要がある。 ・利用者の高齢化が進んでいる状況から、大活字本や成人向け紙芝居の購入を行っている。 ・情報通信技術の進展に伴いパソコンに加えてスマートフォンやタブレット端末の電子書籍貸出しサービスを検討していく必要がある。 ・図書館の構造上、死角となる場所が多数存在するため、施設の安全管理上、防犯カメラの設置を検討する必要がある。 ・遠隔地からの利用者で、図書館が遠くて返却が大変であるとの意見もあり、他の場所へ返却ブックポスト設置を検討する必要がある。
8	指定管理者の経理状況の評価 ・収入及び支出については、適正に処理されている。 ・図書購入費は、仕様書に明記されているとおり年間500万円が支出されている。
9	総括的な評価(課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など) ・町と指定管理者は、毎月定期的に報告・検討会を開催し、情報交換するとともに問題点の改善を図っている。 ・貸出人数及び貸出冊数が年々減少傾向にあることから、戦略的な図書館運営が必要である。一方で施設の改善が必要であり、他の施設との複合化など、今後のサービスや施設の在り方について検討する必要がある。
10	評価ランク : C
	A : 非常に良好な施設の運営状況であった D : やや課題のある施設の運営状況であった B : 良好な施設の運営状況であった E : 課題のある施設の運営状況であった C : 普通の施設の運営状況であった

平成 3 0 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須町野外研修センター
2	指定管理者 名称	NPO法人 那須高原自然学校 理事長 小川 虹生
	住所	栃木県那須郡那須町大字高久甲5720番地
3	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年間)
4	施設所管課	那須町教育委員会生涯学習課
5	履行状況(町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等)	協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、概ね事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	<p>平成30年度の野外研修センターの利用者は、平成28年度の実績には及ばないものの、宿泊者が前年度より増え4,740人(対前年比102.8%)、日帰り利用者が934人(対前年比102.0%)となった。宿泊利用者の内訳は、町内が309人(6.5%)、町外が4,431人(93.5%)であり町内利用者は減少傾向にある状況である。</p> <p>前年度比較の増加の要因としては、平成29年の夏から秋にかけて台風などの天候不良によるキャンセルが多かったが、平成30年度は天候に恵まれたことによるものである。</p> <p>運営面では、インターネットの活用や自然に囲まれた施設環境を活用した体験プログラムを積極的に導入し、町外者の利用は増えてきた。</p> <p>しかし、平成29年度及び平成30年度の2年連続で赤字経営になっている。</p>
7	町民(利用者)からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	<p>利用者には毎回アンケートを実施し、改善要望等を緊急性により分類し、スタッフ全員で意思統一を図るなど適切に管理している。利用者の多くは、ホームページ又は国内最大のキャンプサイトである「なっぷ」により情報を得ている。</p> <p>また、来客対応に関しては、好印象のアンケート結果をいただいている。</p> <p>自然体験から学べる生涯学習施設として有効な利用の促進を図り、プログラム学習を組み合わせながら利用者を満足させている。</p>
8	指定管理者の経理状況の評価	<p>平成30年度の収支については、収入総額は17,154千円(内委託料8,642千円 売上金8,512千円)で昨年度比103.6%に対し、支出総額は17,774千円の前年比プラス864千円で、620千円の赤字となっている。主な要因としては、人件費の増加、繁忙期スタッフの増員及び体験プログラム費用の増加があげられる。</p> <p>経理面においては、平成29年度及び平成30年度の2年連続で赤字経営となっており、効率的な運営方法の検討と経費節減が望まれる。</p>
9	総括的な評価(課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など)	<p>指定管理4年目になり、インターネットの活用により町外者の利用は増えてきた。一方では、町内における小中学校及び子供会育成会の利用が減っており、設立当初の目的であった町民のキャンプを通し生きた自然体験活動の場である主旨が変化してきている。</p> <p>野外活動センターは、昭和52年度に整備され、最も古い施設は41年が経過しており、今後老朽化の進行、修繕費の増加は避けられない。町内には、国県民間等を含め自然体験活動ができる同様の施設が多数存在していること、及び、那須町の将来における公共施設の在り方も踏まえ、指定管理期間の終了後における施設の方針を検討する必要がある。</p>
10	評価ランク	: D
A	非常に良好な施設の運営状況であった	D : やや課題のある施設の運営状況であった
B	良好な施設の運営状況であった	E : 課題のある施設の運営状況であった
C	普通の施設の運営状況であった	

平成 3 0 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須町共同利用模範牧場
2	指定管理者 名称	株式会社 那須の農 代表取締役 岡田建史
	住所	那須町大字漆塚567
3	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日（5年間）
4	施設所管課	那須町農林振興課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	基本協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	<p>○延べ預託頭数については、乳用牛 110,646 頭（H29：99,640 頭）で H29 比 11,006 頭の増となり、内訳は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季放牧 58,732 頭（町内 28,869 頭（49.2%）、町外 29,863 頭（50.8%））（H29 比 4,941 頭増） ・冬季預託 51,914 頭（町内 26,729 頭（51.5%）、町外 25,185 頭（48.5%））（H29 比 6,065 頭増） ・なお、肉用牛の預託については、全 36 牧区（約 219.1ha）のうち 26 牧区（約 138.2ha）を利用自粛しており、平成 24 年度から受け入れを中止している。 <p>その後、平成 26 年度から平成 28 年度において、吸収抑制対策事業を実施し全牧区利用可能となったが、牧草畑の養生のため、体制が整い次第肉用牛の受け入れを再開する予定。</p> <p>しかし、近年イノシシによる草地の被害が増大しており、牧草の収量が減少していることから、和牛の受け入れに支障をきたすことが予想されるため、対策を講じる必要がある。</p> <p>○運営体制については次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務処理分野では、特に問題なく円滑に運営が行われた。 ・現場作業分野においても、特に問題なく円滑な運営が行われた。
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	<p>預託農家からは牛のコンディションがあがってきたとの意見があり、また、預託頭数が増加していることから、利用者にとって良い運営ができています。今後さらに満足していただけるよう、技術向上を図る必要がある。</p>
8	指定管理者の経理状況の評価	<p>平成 30 年度の収支については、収入総額 75,121 千円（消費税抜額）（内訳：委託料 18,510 千円、使用料 51,760 千円、その他 4,851 千円）に対し、支出総額 67,784 千円で、7,337 千円の収益となっており、H29 比で 2,585 千円の減収となっている。</p> <p>令和元年度から、一部の牧区において牛白血病陽性牛の受け入れを開始する予定であることから、さらなる預託頭数の増加が見込まれる。</p>
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	<p>指定管理開始から 4 年目となり、安定した体制が整い平成 30 年度は比較的良好な運営であったかと思われる。</p> <p>預託頭数は増加しておりますが、さらなる新規農家の獲得のための広報活動や、牛白血病陽性牛受け入れに対する理解を図っていくとともに、さらなる技術の向上が必要であると考えられる。</p> <p>施設管理の面では、昭和 43 年開設以来 50 年が経過し、施設の老朽化による改修、修繕等の必要性が増加している他、機械の老朽化が著しいことから、順次対応していく必要がある。また、イノシシによる草地への被害が増大していることから、対策を講じる必要がある。</p>
10	評価ランク	: B
	A：非常に良好な施設の運営状況であった	D：やや課題のある施設の運営状況であった
	B：良好な施設の運営状況であった	E：課題のある施設の運営状況であった
	C：普通の施設の運営状況であった	

平成 3 0 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須温泉ファミリースキー場
2	指定管理者 名称	那須未来株式会社 代表取締役 薄井 正明
	住所	那須町大字高久乙 5 9 3 番地 8
3	指定期間	平成 2 8 年 4 月 1 日～平成 3 1 年 3 月 3 1 日 (3 年間)
4	施設所管課	観光商工課
5	履行状況 (町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等)	協定書、仕様書に基づく年度運営計画書に基づき適切に履行されていた。
6	利用状況、運営状況	<p>今シーズンは、積雪不足の影響で昨年同様 1 2 月 2 9 日からのオープンとなったが、年末年始に営業ができたことで、正月休みには多くの来場者があり、この期間だけで約 4 0 0 万円の売上となった。</p> <p>しかし、シーズン中は積雪に恵まれず、ゲレンデ状態は 2 月までは良かったが、3 月は十分な積雪が確保できず、3 月の営業は 5 日間という散々な状況であった。</p> <p>【利用状況】</p> <p>○リフト券等売上高 14,280,140 円 (昨年度 17,199,460 円 83.0%)</p> <p>○入場者数 15,180 人 (前年度 18,210 人 83.4%)</p> <p>○リフト輸送人員 103,595 人 (前年度 175,854 人 58.9%)</p> <p>【運営状況】</p> <p>○営業期間 平成 30 年 12 月 22 日 (土)～平成 31 年 3 月 24 日 (日) 93 日間</p> <p>○営業日数 63 日 (前年度 77 日)</p> <p>○負傷者 8 人 (前年度 6 人)</p>
7	町民 (利用者) からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	<p>那須温泉ファミリースキー場はスノーボードの全面滑走禁止としており、安心してスキーを楽しめるスキー場としてファミリー層の満足度は高い。</p> <p>また、大丸駐車場からの無料送迎を引き続き行い、送迎人数は延べ 6,461 名あり、利用者からは非常に好評である。</p> <p>更に、スキー場恒例のキッズイベントも引き続き開催し、多くのリピーターを集めている。</p>
8	指定管理者の経理状況の評価	<p>平成 30 年度の収支は、収入総額は 33,933 千円 (内委託料 16,500 千円、リフト使用料等 14,496 千円) に対し、支出総額は 29,441 千円で、4,492 千円の黒字となっている。</p> <p>しかし、当スキー場には人口降雪設備がないため、自然降雪の影響を大きく受けることが、運営を不確定なものにしている。</p>
9	総括的な評価 (課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など)	<p>三年目のシーズンとなり、安全対策やサービスの充実により、スキー場の雰囲気もさらに良くなってきている。また、ライブカメラによるリアルタイムなスキー場の映像と、フェイスブックによる情報発信、更には、大丸駐車場からの無料送迎を行うなど、利用者のサービス向上に努めており、サービス面での指定管理者導入のメリットが認められる。</p>
10	評価ランク	: B
	A : 非常に良好な施設の運営状況であった	D : やや課題のある施設の運営状況であった
	B : 良好な施設の運営状況であった	E : 課題のある施設の運営状況であった
	C : 普通の施設の運営状況であった	